

平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

広島市立広瀬小学校

1 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の実施日 平成25年4月24日(水)

3 調査実施学校数(公立学校)等

区分	調査実施校数(校)			調査実施者数(人)			
	国	県	市	国	県	市	広瀬小
小学校第6学年	20,458	355	142	1,108,272	25,456	10,836	37
中学校第3学年	9,890	181	64	1,027,458	22,564	9,273	—

4 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学)

主として知識に関する問題〔A問題〕

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◇ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として活用に関する問題〔B問題〕

- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

- ◇ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 調査結果

(1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学)・・・各教科の平均正答率

国語								算数							
A問題				B問題				A問題				B問題			
国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校
62.7	65.8	63.8	63.7	49.4	52.7	51.7	54.9	77.2	79.2	77.9	83.2	58.4	61.3	59.7	63.2

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査・・・主な項目についての概要

- ◇ 本校の児童は、「自分にはよいところがあると思う」「自分の行動や発言に自信をもっている」「友達に伝えたいことをうまく伝えることができる」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」と回答した児童の割合が高い傾向が見られた。
- ◇ 生活面では県や全国の傾向に比べ、「普段、何時ごろに起きるか」との設問に対して早く起きている傾向が見られ、「家の人と普段、夕食を一緒に食べているか」との設問に対しても一緒によく食べている傾向が見られた。
- ◇ 学校生活では県や全国の傾向に比べ、「学校の決まりを守っている」「友達が悪いことをしたときは注意する」と回答した児童の割合が高く、学習場面では、「総合的な学習の時間の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ」「普段の授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていると思う」回答した児童の割合が高い傾向が見られた。